

令和4年度 第7回 第8回 都公連 委員部会 運営委員会 報告

日時： 第7回 令和4年10月27日(木) 午後2時～

第8回 令和4年11月24日(木) 午後2時～

会場： 国分寺市本多公民館 2階 講座室

出席市： 国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、昭島市、町田市、小金井市、小平市、日野市、西東京市

(第7回、第8回とも、主な議案は第59回東京都公民館研究大会についてでした。)

(1) 第59回 東京都公民館 研究大会

【資料】

- ・ 日時： 令和5年2月4日(土)
- ・ 基調講演 録画での視聴 (12月23日(金) 14:00～収録)  
テーマ： 「コロナ禍を乗り越え進化する公民館」  
講師： 池谷美衣子氏 (東海大学スチューデントアチーブセンター准教授)
- ・ 第一課題別集会 (企画運営：日野市) (原則、オンライン受講)  
会場： 小平市 中央公民館  
テーマ： 「明るい兆しの中で～コロナ禍の公民館を振り返る～」  
事例報告： ① 諸星智子氏 (日野市公民館 登録サークル NP)  
② 大村国博氏 (日野市中央公民館 係長)  
③ 丹間康仁氏 (千葉大学教育学部准教授)  
助言者： 佐藤智子氏 (東北大学准教授)
- ・ 第二課題別集会 (企画運営：国分寺市)  
会場： 小平市 福社会館  
テーマ： 「地域に広がる・つながる公民館になるためにどうしたらよいか」  
事例報告： ① 「学校との連携から広がる公民館」  
矢島英明氏 (国分寺市立第九小学校校長)  
② 「オンラインを活用した新たなつながり」  
出口亮太氏 (長崎県長崎市北公民館長)  
③ 「なかまちテラスLINKsについて」  
中村和幸氏 (なかまちテラス公民館館長)  
助言者： 倉持伸江氏 (東京学芸大学教育学部准教授)

・ 第三課題別集会 (企画運営 職員部会 部会長市 西東京市)

会 場 : 西東京市 柳沢公民館

テーマ : 「地域課題をどうやって捉えるか」

事例報告 : 「みんな笑顔のまちづくり ～実現への秘策～」

野嶋京登氏 (浜松市職員、富塚協働センター主任、コミュニティ担当)

助言者 : 田中雅文氏 (日本女子大学 人間社会学部 教育学科教授)

・ 第四課題別集会 (委員部会 国分寺市)

会 場 : 国分寺市 本多公民館

テーマ : 「次世代に公民館をつなぐ ～学生・子育て世代が考えるこれからの公民館」

事例報告 : ① 東京学芸大学学生

② 諏訪玲子氏 (国分寺市 P T A 連合会、国分寺市立公民館 運営審議会委員)

助言者 : 柴田彩千子氏 (東京学芸大学 教育学部准教授)

(2) 課題別集会の謝礼

基調講演講師料 30,000 円

助言者 20,000 円

事例報告者 5,000 円 / 1 件

## 第 59 回東京都公民館研究大会開催要項

# コロナ禍を乗り越え進化する公民館

### 1 開催趣旨

地域コミュニティの中核施設である公民館は、地域住民にとっての身近な社会教育施設として、また、「つどろ」「まなぶ」「むすぶ」ことを促進する「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の拠点としてその役割を担ってきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による大きな日常の変化が、公民館にも大きな影響を与えました。多摩地域でも大半の公民館が臨時休館を余儀なくされ、その後もさまざまな利用の制限を設けることとなり、以前と同様の活動はままならない状況です。活動の休止や解散を強いられたサークルも多く、公民館利用者の多くは社会参加の機会を失い、孤立を生み、心身の健康や心理的安定の悪化などが懸念されます。

また、社会においては、オンライン会議システムの活用などのICT化が急速に進みました。その中で公民館は、対面で活動ができない状況を克服すべく、講演会や主催講座のオンライン化にも積極的に挑戦し、東京都公民館研究大会でも、この2年間はオンラインでの開催に取り組みました。これまで対面での活動が中心であった公民館にとって大きな転換点となりましたが、Wi-Fi環境を始めとしたハード面の整備など、潜在的な課題とは別に新たな課題も浮かび上がってきました。

公民館がこれまで取り組んできた地域の問題解決や、公民館自体を取り巻く環境の変化への対応に加え、ウィズコロナ、ICTやSNSなどの活用や環境整備といった新しいテーマを踏まえて、今後の公民館のあり方を考える必要があります。今大会は、公民館が描く未来像を再確認し、今後のあり方を見出す機会として開催します。

- 2 主 催 東京都公民館連絡協議会（以下「都公連」という）
- 3 後 援 東京都教育委員会、東京都市長会、東京都町村会、東京都市教育長会、東京都町村教育長会、東京都市町村教育委員会連合会、小平市教育委員会
- 4 日 時 2023年（令和5年）2月4日（土）  
午後1時～午後4時30分
- 5 開催方法 課題別集会ごとに参集する対面による集合形式（第一課題別集会のみ、原則オンライン参加、対面も可）（コロナの状況により、開催方法を変更することがあります。）
- 6 会 場 小平市中央公民館（第一課題別集会）、小平市福社会館（第二課題別集会）  
西東京市柳沢公民館（第三課題別集会）、国分寺市本多公民館（第四課題別集会）
- 7 プログラム 午後0時30分～開場・受付（各会場にて）  
午後1時～4時30分 基調講演（録画）、課題別集会（各会場にて）
- 8 基調講演 講師：池谷美衣子さん（東海大学ステューデントアチーブメントセンター准教授）  
テーマ：コロナ禍を乗り越え進化する公民館

9 課題別集会

<課題別集会 概要>

会場・想定人数	テーマ・報告事例概要	企画運営
<p>第一課題別集会</p> <p>会場：小平市中央公民館 (原則、オンライン受講型で開催します。対面は20人程度)</p>	<p>テーマ：明るい兆しの中で～コロナ禍の公民館を振り返る～</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた公民館では何があったのか？ 今まで長い歴史を携え、市民と共に駆けてきた公民館ではありますが、学びがストップした事により、利用者、職員がそれぞれの立場で「公民館の学びとは何だったのか？」と考えさせられたと思われま</p> <p>日野市では、臨時休館を失われた時間と捉えず、新たな「気付き」や「学び」の機会として、試行錯誤して来ま</p> <p>公運審と職員とが連携して実施した公民館利用者へのアンケート調査や聞き取りをとおして得た一つの回答は、「失敗を恐れずチャレンジを続けよう」でした。そこで、利用者の思いと公民館の思いを融合させた新しい試みを紹介したいと思います。</p> <p>助言者：佐藤智子さん(東北大学准教授)</p> <p>事例報告者：①諸星智子さん(日野市公民館登録サークル NP) ②大村国博さん(日野市中央公民館 係長) ③丹間康仁さん(千葉大学教育学部准教授)</p>	<p>日野市</p>
<p>第二課題別集会</p> <p>会場：小平市福祉会館 (80人程度)</p>	<p>テーマ：地域に広がる・つながる公民館になるためにどうしたらよいか</p> <p>地域の繋がりが希薄になりつつある社会において、公民館が学校や地域から求められているもの、学校や地域と共に行えること、市民や地域が主体的に公民館事業に関わるためにどうすればよいかなどについて事例をもとに考えませんか。またコロナ禍で活用が広がったオンラインについて、先進事例を聞くことで今後のオンラインの活用についても考えます。</p> <p>助言者：倉持伸江さん(東京学芸大学教育学部准教授)</p> <p>事例報告者：①学校との連携から広がる公民館 矢島英明さん(国分寺市立第九小学校長) ②オンラインを活用した新たなつながり 出口亮太さん(長崎県長崎市北公民館長) ③公民館事業への市民参画から地域づくりへ 中村和幸さん(なかもちテラス仲町公民館長)</p>	<p>国分寺市</p>
<p>第三課題別集会</p> <p>会場：西東京市柳沢公民館 (40人程度)</p>	<p>テーマ：地域課題をどうやって捉えるのか</p> <p>公民館では年間を通して多くの講座が実施されています。公民館職員は地域住民が抱える様々な課題(地域課題や生活課題等)を把握し、課題解消に向けた講座を企画・実施しています。</p> <p>本課題別集会では、公民館職員の悩みどころである『地域課題をどうやって汲み取るのか、捉えるのか』ということに焦点を当て、今後の講座企画の一助となる内容で実施します。</p> <p>また今回の研究大会のテーマ「コロナ禍を乗り越え進化する公民館」を受け、全国でも先進的な事業を数多く展開している、静岡県浜松市職員の野嶋京登氏を迎え、『みんな笑顔のまちづくり～実現への秘策～』と題して、事例報告を行っていただきます。グループワーク後には、日本女子大学田中雅文教授よりご助言をいただき、また野嶋氏からも助言いただきます。</p> <p>助言者：田中雅文さん(日本女子大学人間社会学部教育学科教授)</p> <p>事例報告者・助言者：野嶋京登さん(浜松市職員、富塚協働センター主任、コミュニティ担当)</p>	<p>職員部会 (部会長市西東京市)</p>
<p>第四課題別集会</p> <p>会場：国分寺市本多公民館 (80人程度)</p>	<p>テーマ：次世代に公民館をつなぐ ～学生・子育て世代が考えるこれからの公民館～</p> <p>コロナ禍で「対面」の重要性が再確認されたとともに、リモートなど新しい情報技術の導入も課題となって浮かび上がってきた。そこで、社会教育実習を経験した学生と子育て世代の事例発表を通し、公民館を次世代にどうつなげていくかを話し合います。</p> <p>助言者：柴田彩千子さん(東京学芸大学教育学部准教授)</p> <p>事例報告者：①東京学芸大学学生 ②諏訪玲子さん(国分寺市PTA連合会、国分寺市立公民館運営審議会委員、雑誌「社会教育」に連載中)</p>	<p>委員部会 (部会長市国分寺市)</p>

10 参加申込

参加対象	公民館運営審議会委員、公民館職員、社会教育関係者、生涯学習関係者、その他本研究大会に関心のある方、どなたでも参加できます。
参加費	1,000 円
申込方法	<p>都公連加盟市（昭島、町田、小金井、小平、日野、国分寺、国立、西東京、福生、狛江、東大和市）の方は、お住いの公民館及び生涯学習センターの窓口でもお申し込みできます。その場合、現金での支払いも可能です。</p> <p>都公連加盟市以外の参加希望者は、別添の申込書により、大会事務局までお申し込みください。（持参、郵送、メール、FAX 可）。</p> <p>都公連加盟市の職員や審議会委員などの参加者は、各市で取りまとめのうえ、別様式で大会事務局まで。後日、請求書を送付いたしますので、振込先へご入金ください。</p> <p>共通                  ※会場の収容人員等の都合により、ご希望の課題別集會に参加できない場合もあります。申込書には必ず第3希望の集會名までご記入ください。（第一課題別集會のみ、対面かオンラインかご記入ください。）                  ※手話通訳をご希望の方は、申込書にその旨ご記入ください。</p>
申込期限	12月23日（金）まで
支払期限	1月20日（金）まで 受付確認の連絡後、振り込み先へご入金ください。（期限までにご入金がない場合は、申込をキャンセルさせていただきます。）
振込先	多摩信用金庫 一橋学園支店 普通預金（口座番号）0334280 （口座名義）東京都公民館連絡協議会 東京都公民館研究大会事務局長 季高 一成
参加までの流れ	①「参加申込」を大会事務局へ提出する。 ②「受付確認」の連絡を大会事務局より受ける。 ③「参加費」を振り込む（銀行振込、手数料はご自身の負担となります。）。 ④第一課題別集會のオンライン参加者に必要な情報はメールにて送付します。

開催要項は、都公連ホームページでご覧になれます。

また、研究大会の報告は、後日、都公連ホームページに掲載します。

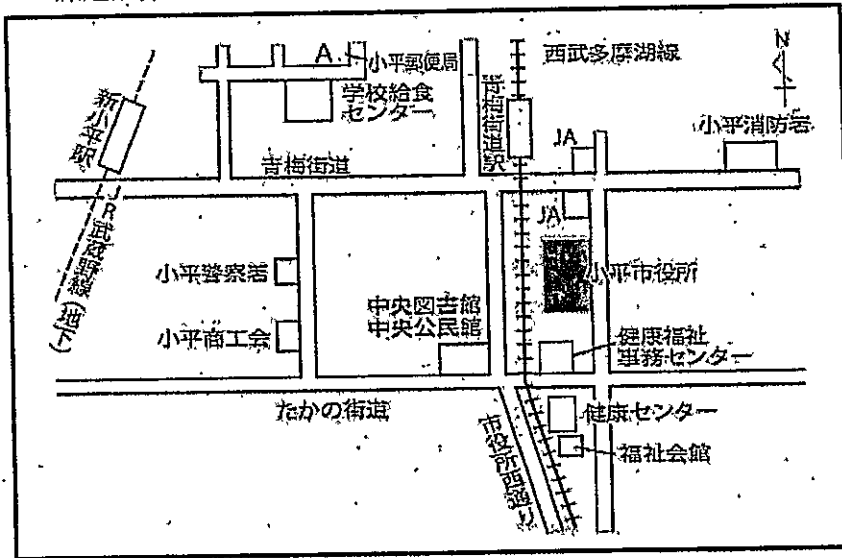


都公連ホームページ  
QRコード

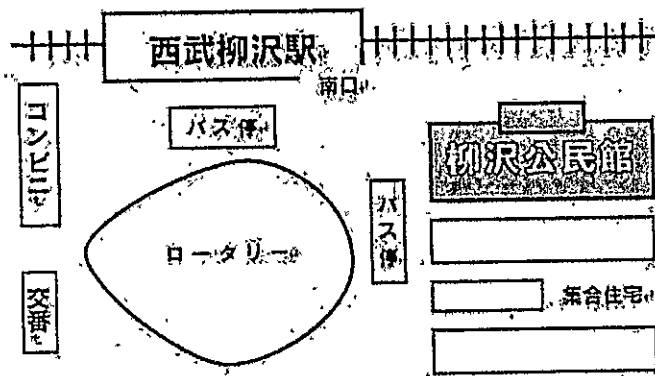
- 11 <会場案内図> ①小平市 中央公民館 (小平市小川町2-1325)  
 ②小平市 福社会館 (小平市学園東町1-19-13)  
 ③西東京市 柳沢公民館 (西東京市柳沢1-15-1)  
 ④国分寺市 本多公民館 (国分寺市本多1-7-1)

※各会場とも駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

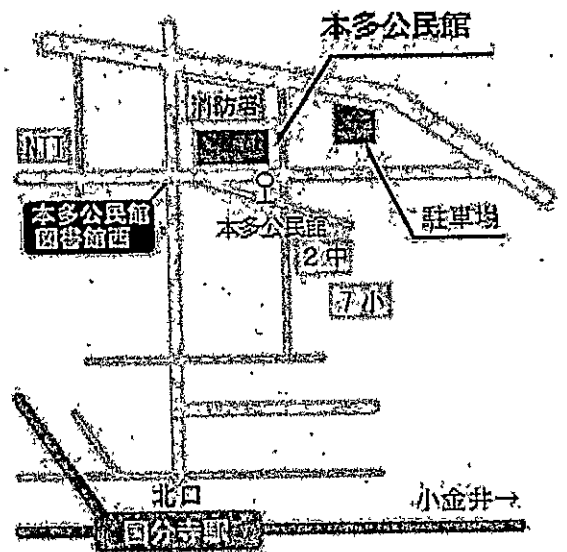
第一・二課題別集会会場



第三課題別集会会場



第四課題別集会会場



- 12 問い合わせ 第59回東京都公民館研究大会事務局  
 小平市教育委員会 教育部中央公民館管理担当  
 〒187-0032 小平市小川町2-1325 小平市中央公民館  
 電話 042-341-0861 FAX 042-341-0883  
 Eメール [kominkan@city.kodaira.lg.jp](mailto:kominkan@city.kodaira.lg.jp)